

評 価 調 書 (取りまとめ)

評価テーマ	福岡県農業を担う人材づくり
重点目標 自営就農、県内農業法人への就農	

実施計画 養成科 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦入試科目に数学を追加 ・ GAP を各コース取り組む ・ 校外研修先を農大 OB にする ・ 農産物直売実習の拡充 ・ 農業法人インターシップを単位化 ・ 農福連携強化 ・ JA 等との連携 研修科 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就農相談会 ・ 就農につながる研修の充実 		実施実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦入学者 17 名 ・ リスク評価等実施 5 コース ・ 農大 OB 研修 8/18 回 ・ JA 筑紫直売所販売 91 回 ・ 単位取得者 14 名 ・ 障がい者の農業体験 8 回 ・ プロジェクト実施 1 名
指 目標 標 卒業生・修了生の就農者割合 <div style="text-align: right; font-weight: bold;">70%</div>		指 今年度実績 標 就農者割合 63%(達成度 90%) 養成科 19/36 名、研修科 10/10 名

評価	A 成果が出ており、評価項目・目標への対応を行っている。	B 一定の成果が出ており、課題への対応を行っている。	C 現段階では成果が見えにくい、課題への対応を行っている。	D 成果が見えず、課題への対応まで至っていない。
A 1人				
B 4人				

評価委員からの助言、提案事項 ○就農に向けて、農業情勢の変化に対応しうる勉強をしていただきたいと思います。 ○インターンシップの参加者と就農相談を増やしていくように。 ○卒業後も見据え、若手農家や JA, 農業士等との交流をもてる機会があるといい。 ○学校のやる事が多く大変だと思いますが、ぜひとも頑張ってください。 ○引き続き新たな人材育成を期待します。 ○農大の最大の強みをもっと生かしてくべきと感じました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業高校・4Hクラブ・普及指導センター等とのネットワークの利用 ・ インターンシップの有効活用でミスマッチ防止
--

- ・ 6次化コンクール等、外部評価の利用
 - ・ 農業大学校と福岡農業高校専攻科の実験・実習施設の共同利用の促進
- ファーマープラン参加者は農大進学への意欲向上につながっているので重要な取組。
- 普通高校からの入学者も増えているようなので、普通高校での認知度向上のための効果的なPR手法の検討が必要。
- 農業法人等へのインターンシップは重要。先生のフォローも必要。
- 受入れ法人のリスト化に法人ネットワークへの協力を相談できないか？